

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回食育推進会議
開催日時		令和5年7月11日（火） 午後3時00分から 午後4時40分まで
開催場所		福津市役所 本館2階 大会議室
委員名		(1) 出席委員 梅木 陽子、宗岡 浩子、山下 和也、 花田 砂恵子、児島 由美、高山 結花、 田志 元子、漆谷 慎一、中島 美香、 林 チョ (2) 欠席委員 なし
所管課職員職氏名		こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 羽田野 美奈 子育て世代包括支援課 保健指導係長 新堀 瞳 子育て世代包括支援課 保健指導係 河野 里奈 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子
会 議	議 題 (内容)	(1) 令和5年度福津市食育推進の取り組みについて (2) 食のカレンダーホームページ掲載について (3) 広報ふくつへの食育記事掲載について
	公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・第2次福津市食育推進計画 進捗状況 ・令和5年度食のイベントカレンダー ・広報カレンダー裏の食育記事掲載について
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会のことば

2. 市長あいさつ

原崎市長よりあいさつ

3. 委嘱辞令の交付

原崎市長より委員へ委嘱辞令交付

4. 自己紹介

(福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 准教授 梅木委員)

福津市の食育推進会議に関しましては、今回で4期目を務めさせていただきます。福津市と福岡女子大学は包括連携協定を締結しています。第1次福津市食育推進計画の策定時から野口先生が委員として務めさせていただいております。その頃から関わりがございまして、初代が野口孝則先生、その次は水元芳先生、私で3代目になります。

流入人口が大変多くなっているという特徴的な市において、食をどのようにつなげていくのかというところが大変重要な課題であり、様々な視点から食と食の環境整備について議論し、よりよい食育推進が出来たらと思っております。

(福津市食生活改善推進会 会長 宗岡委員)

私たち食進会は市民の生活習慣病予防のために、自分自身の健康のためにと二刀流で頑張っております。幼児から高齢者まで、減塩やバランスの良い食事、あらゆる食育で多くの皆様からお知恵をお借りして活動しております。

(福岡県福岡農林事務所 北筑前普及指導センター 園芸課長 山下委員)

当センターでは、毎年、市の農林水産課、福津市の小中学校、ふれあい広場ふくまと連携して福間地区の学校給食農産物導入について協議を重ねて、会場を巡回して農産物の今後の出荷についての検討等を行っています。

県では、本年度に5ヵ年計画で福岡県食育地産地消推進計画が改定されております。前回もご紹介しましたワンヘルスという考え方に基づいて、その中で食育、地産地消を推進していくということで、色々な項目にわたって達成目標を掲げたところです。昨年度から始まっており、徐々に認証が増えているという状況です。

6月末から昨日にかけて大雨による農作物被害のため、現場では被害対応に追われている状況です。食育の一環で、食農の重要性についてですが、毎年の異常気象と言いながら、非常にもう当たり前のことになっている中で、毎年被害を受けながら農家の皆さんが生産している大変さを色々なところでご紹介いただければと思います。

(あんずの里市利用組合 事務長 花田委員)

あんずの里市では直売所として28年ほどやっております。その中で地域

の学校給食や幼稚園や保育園への食材提供をしています。また、高齢者にとにかく新鮮で安い野菜の提供ができるように頑張っております。

(上西郷小学校 校長 児島委員)

学校では毎日の給食、それから家庭科の授業が食育と直結しています。本校を例に挙げますと、「おにぎり給食」と言って子どもが家からご飯を持ってきて自分でおにぎりを握ることや、全員が夏休みの宿題として家でカレーライスを作ることを行います。コンセプトとしては、保護者が用意できなくても、自分の食べるものを自分でつくることが出来るようになることです。

(福津市商工会 経営指導員 田志委員)

2期目に入りました。商工会はご商売人、商工業者、特に小規模事業者の支援をするところです。なかなか食育を中心に支援できるところではないのですが、最近、福津市は人口の増加とともに、事業者さんも増えていますので、福津市産の食材、地元の果物、色々と支援していけたらと思っております。

(公募委員 漆谷委員)

NPO法人メッタークラブでボランティアをしています。メッターというのは慈悲深いという意味で、子どもの居場所づくりです。現在、万華鏡作りなど工作教室を月1回程度しています。今後は子どもたちに料理教室や栄養教室が出来たらいいと思います。そのほか、フードロスがなくなれば良いと思いますし、スーパーで5,000円の物を500円安く買えたとしたら、その500円を半分ぐらいためて寄附をしています。

(公募委員 中島委員)

私の子ども達も福津市産の食材で育っているとすごく感じています。自分自身は、コロナ禍になってから子ども向けの料理教室をスタートしました。それまでは大人向けの食育活動をしていたのですが、子ども達は、実はすごくお料理を作りたいと気持ちがあって、でもお家では、あまり作る時間がなかったり、お家の方がお忙しく作れなかったりというような状況があります。

今、自分自身の料理教室プラス食進会でもお世話になっています。去年は郷育推進課のコミュニティフェスタで焼餅を作ることや、こども課の事業で乳幼児のお母さん達に食育講座などをしました。

児島委員がおっしゃったように、本当に子ども達が自分自身で自立して、お料理を作って、料理だけじゃないのですが、大人になって健康で心豊かに過ごせるようになってほしいなと思い日々活動しております。

(公募委員 林委員)

私は地域の市民のために何かしたいと思い応募しました。食は子どもたちの身体もつくりませんが、食品添加物の問題なども心配しています。

また、私は野菜作りから知りたいと思い、農家さんから畑を借受けて100%無農薬の野菜作りを始めました。

古賀市の話ですが、スイートコーン農家7～8軒とボランティアスタッフが一緒に収穫から出荷まで行うイベントがあり、4,000本のスイートコーンが完売したそうです。

福津市でも稲刈りや芋ほりのイベントがあるかもしれませんが、このようなボランティアスタッフの応援で農家の人手不足が解消し、私たち市民は農作業の体験により農家の方と交流できたら楽しいと思いました。

(J Aむなかた 営農企画課 高山委員)

営農企画課では、子ども向けのキッズクラブを年に5回程しています。去年はさつまいも植えや、宗像管内でとれたお米を使った米粉の料理教室をしました。

今年は開校式がありミニトマトの苗植えをしました。J Aの園芸課の営農指導員が講師となり、プランターでミニトマトの苗植えをして夏休みに観察日誌をつけて来てもらう内容です。今後もいろいろと計画中です。

また、保護者対象に8月1日に平松先生の講演会を開催します。どなたでも、会費無料で講演が聞けます。福津市でもSNSで掲載していただきましたが、随時募集しておりますのでよろしく願いいたします。

(事務局紹介)

事務局5名の自己紹介

5.会長、副会長の選任

(事務局 新堀)

それでは次第5、会長、副会長の選出に入らせていただきます。福津市食育推進会議規則第3条により、会長、副会長は委員の互選となっております。皆さまからの推薦をお願いいたします。

(意見なし)

事務局から会長に梅木委員、副会長に宗岡委員を提案いたしますが、いかがでしょうか。

(賛成の拍手あり)

ありがとうございます。

では、会長は梅木委員、副会長は宗岡委員をお願いいたします。

6.会長あいさつ

(梅木会長)

福津市の食育に関しましては、学生たちも一緒に活動をさせていただき、地域のスーパーマーケットですとか、食育活動で一緒にさせていただくようなことがございました。最近ではコロナで活動はできておりませんでした。また、皆さんと一緒に食育を推進してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

また、この会議につきましても進行役を務めますけれども、皆様に活発な議論をいただきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

7.議事

議事（１）令和５年度福津市食育推進の取り組みについて

（梅木会長）

それでは議事に入ります。議事（１）第２次福津市食育推進計画 進捗状況について事務局よりご説明お願いいたします。

（事務局 丸山）

資料１をご覧ください。第２次食育推進計画に沿って、各課の取り組みをまとめています。この中より今年度の取り組みをいくつかご報告いたします。

【１ページ】目標「食を通して地域を知る」

観光振興課では、地元店舗の協力を得て、鯛茶フェアや開運スイーツフェアなどを開催。また、暮らしの旅における「食に関する旅プログラム」の企画開催をします。

農林水産課では、ＪＡ青年部と協働で、小学校での体験学習でスイカの苗植え及び収穫。また、地元漁業者と協力してカキ即売会をします。

地域コミュニティ課では、郷づくり協議会の事業計画に基づき、野菜や米作り体験などを行います。

学校では、地元の食材についての掲示物を作成し校内に掲示し、給食時間に地域についての内容を放送しています。

【２ページ】目標「地元でとれたものをおいしく食べる」

学校や大和保育所では、福津市産の旬の食材を使用した給食を実施します。

いきいき健康課では、食生活改善推進会の料理教室で地元産の食材を利用します。

子育て世代包括支援課では、昨年を引き続き、小学生が夏休みに福津市産の食材を使った料理に挑戦する「福津のめぐみで料理名人」を企画します。

※資料「福津のめぐみで料理名人」

【３ページ】目標「若い世代が健康や食への意識を持つ」

大和保育所では、保護者へ子どもたちに人気の給食やおやつのおやつクッキングや、だしの取り方を伝える教室をします。

子育て世代包括支援課では、生活習慣病予防のための啓発を妊娠期から行います。幼児期に親子で楽しく食に関心が持てるよう、食育シートを梅木先生に考案いただき作成しましたので、ご紹介します。

※資料「幼児のための食育シート」

【４ページ】目標「規則正しい生活リズムを整える」

各課それぞれ、生活リズムを整えて３食規則正しく食べる事を伝えます。

【５ページ】目標「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」

いきいき健康課では、出前講座や学習会、料理教室を行います。イオン福津店・福岡女子大学と連携して、自然に健康になれる食環境づくりの周知啓発やイベントを実施します。

5月に福岡女子大学の学生さんがレシピ考案した「美味ヘル！7種の彩り丼」の発売イベントを開催しました。

※資料「美味ヘル！7種の彩り丼」

【6ページ】目標「食への感謝の気持ちを育てる」

学校では、いただきますごちそうさまの挨拶指導をします。

いきいき健康課では、親子料理教室で、料理の楽しさ・食べる事の大切さ・感謝の気持ちを伝える教室を実施します。

大和保育所では生きた魚をさばき、いただくことで命の大切さを伝えます。

【7ページ】目標「食文化を次世代につなげる」

学校や大和保育所では、給食に郷土料理や季節の行事食を取り入れます。

いきいき健康課では、食進会の料理教室でおせち料理を適塩使用にして紹介します。

【8ページ】目標「食に対する正しい知識を身につける」

郷育推進課では、郷育カレッジで食品表示の読み取り方に関する講座を開催します。

学校では、食品衛生について保護者にお便りで啓発します。

【9ページ】目標「地域の自然環境をみんなで守る」

郷育推進課では、郷育カレッジで食品ロスを減らす活動を紹介する講座を開催します。

学校では、学校やクラスごとに期間を設け「残食をなくそう」をテーマに取り組めます。

【10ページ】目標「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」

各課、様々な関係団体と協力しています。

【11ページ】目標「これも食育の啓発」

広報カレンダーで食育記事掲載をしています。また、各課広報やLINEなどでも、食育に関するイベント情報発信しています。

(梅木会長)

ご説明ありがとうございました。ただいまの件について、ご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

(林委員)

アンケートの数値として令和2年度は調査結果がありますが、令和3年度においてはどのようになっているのですか。

(事務局 丸山)

市の食育推進計画が10年計画で、アンケートは5年ごとにとっています。

(梅木会長)

本市の第2次食育推進計画のアンケートが、予定としては令和7年度に実施して、令和8年度に次の計画を策定する検討に入るとのことです。

他に資料1に関してご質問のある方はいらっしゃいますか。

福津市がいろいろな関係団体と連携しながら、目標ごとにいろいろと広く取り組んでいらっしゃるというのがこの資料でよく分かりました。

例えば「元気な地域をつくる」のところでいくと、生産者との交流体験は、目標は市民50%、令和2年度では2割で約20%ぐらいだったという結果で、かなり頑張っていないと、この50%に向けては大変だと感じたところですが、いかがでしょうか。

(事務局 丸山)

令和2年度はコロナ禍でかなりイベントも中止になっていましたが、令和4年度には、地域コミュニティ課の郷づくりでは、野菜苗植え体験や米作り体験が増えておりますし、小学校での体験活動も出来るようになり、食生活改善推進会の教室も増えてきています。令和2年度が最も生産者との交流活動が出来なかった年度になるかと思われまます。

(梅木会長)

ありがとうございます。生産者の立場の花田委員にお伺いしたいのですが市民や子ども向けの行事は増えてきていますか。

(花田委員)

給食の交流会で、生産者と子ども達で給食を一緒に食べて「こんな食材を作っていますよ」という交流をしています。コロナ禍にはリモートでしていました。

(梅木会長)

継続的に色々な方法で取り組まれていらっしゃるということですね。ありがとうございます。上西郷小学校の児島校長先生、何か活動をしていましたら教えてください。

(児島委員)

本校はスイカをJAの方に来ていただいて育てていますがけれども、学校全体的にようやくコロナ前に戻ってきたという方が感覚としては正しいかと思えます。新しく増えてくるか、幅が広がっていくかはこれからかなという感じが表現として適切かなと思えます。

(梅木会長)

ありがとうございます。コロナ禍で外部からなかなか学校に入るのが難しかったのが、今後はますます機会が増えて令和7年の時はさらに増えていくことが期待されます。よろしくお願ひします。

(漆谷委員)

「福津のめぐみで料理名人」について質問がいくつかあります。自分でお米を洗うとありますが、炊飯器がない家もあると思うので、おにぎりを作ることでいいかなと。調理実習が5年生からなので、4年生はまだ早いのかな、なるべくハードルを下げたほうがいいかと思います。野菜も、海藻キノコはなくても、3種類以上だけで良いのではないかと思います。味噌汁ですが、だしを昆布とかでとらなくても良いのかなと思います。粉末等を使ってとにかく作ることが出来たらいいかなと思います。あと「来年からは1年ごとのチャレンジに変わります。」とありますが、意味が具体的によく分かりません。

(事務局 丸山)

「福津のめぐみで料理名人」は、当初5年間継続してチャレンジできるように考えていましたが、管理が難しく学校側でもチャレンジ認定証を子どもに返したら紛失してしまうので学校で保管する所もあり、市でも管理していくのが大変になってきて、来年からは1年ごとの単年認定へ変更にしました。

(漆谷委員)

例えばひとつの級にチャレンジした場合はどうなりますか。

(事務局 丸山)

チャレンジした級の認定証をそれぞれにお返しするという形になります。

(漆谷委員)

その内容が書いてあった方が分かりやすいですね。それから「幼児の食育チャレンジシート」の内容は結構ハードルが高いと思います。

(事務局 丸山)

こちらは3～6歳ぐらいを対象にしており、3歳児健診で希望者へお配りしています。

(漆谷委員)

小学生の「福津のめぐみで料理名人」では、3、4級が肉と魚を使った料理という様にシンプルな内容ですが、「幼児の食育チャレンジシート」は、ハンバーグの成形とか、魚をペーパーで拭くとありますが結構大変かと思うので、焼いたものを皿に盛るとか手軽にできる内容で良いのではないかと思います。

また、郷土料理のところで電子レンジと書いてありますが、電子レンジが無い家庭もあるので外した方が良くないかと思っています。

(梅木会長)

具体的なご意見ありがとうございました。「幼児の食育チャレンジシート」は取り組み始めたばかりですが、まずは何かやってみたくていただくと

ことや、健診で目にとめていただいで何かひとつでもしてみようかなと思っ
ていただくのがスタートかと思いました。

また、小学生の「福津のめぐみで料理名人」は、全部にチャレンジした人
は名人認定ということですが、実際は、応募したい好きな級からチャレンジ
できるということで、今後は、単年度で挑戦する取組みに変わるとのこと
ですので、「級にするのか」「ポイントにするのか」といった点などについて、
他のところでも子ども料理があるので参考にできると良いかと思ひます。福
津市産の食材を取り入れるというところが特徴ではありますが、他のところ
でも、子どもが自分で作るという点で具体的なご意見をありがとうございます。

上西郷小学校では夏休みの宿題でカレーライスを作るとお聞きしましたが、
その学年に応じて何か取組み方の違いとか特徴とか、ご指導の中で工夫をさ
れていることがありましたら、「福津のめぐみで料理名人」の参考になるか
と思ひますのでお聞きしたいですが、いかがでしょうか。

(児島委員)

ひと言で言うと親の手がどれくらい入るかっていうところに尽きるかなと
思ひます。低学年は野菜を一緒に洗うとか、高学年になったら自分で切って
全て自分でやって、そしておうちの人から感想までもらってきます。

(梅木会長)

ありがとうございます。「福津のめぐみで料理名人」に昨年度は900人ぐ
らい応募があったとお聞きしておりますが、どの学年が多かったなど傾向は
ありましたか。

(事務局 丸山)

全体900人の中の600人が福間南小からの応募で、低学年はおにぎりを握
ることや、親子で楽しんで挑戦してくれたものが多かったです。高学年にな
ると、私たちもすばらしいと思う料理があり、自分で魚を釣って料理する児
童もいました。応募は3・4年生が多かったです。

(梅木会長)

ありがとうございます。この課題が自由課題としての予定でしたので、上
の学年になると、他の夏休みの活動もあり、色々と行動範囲も広がるので、
なかなか料理のほうへの取組みが難しい面があるのかもしれないですし、こ
の教材自体の特徴なのかもしれないので、そういったところを今年度、動き
を見ながら精査していただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。

(林委員)

先ほどお話しした古賀市のスイートコーン農家とボランティアスタッフとの
タイアップのイベントですが、LINEを使って呼びかけたところ、たくさ
ん応募があったようです。古賀市ではスイートコーンだけでなく、他にもた
くさんしていると聞いており、楽しんで盛り上がっているとのこと。福
津市でもスイカの収穫等、野菜や米づくり体験があるとの事ですが、年間を

通して農家さんと市民のタイアップのイベントをしていたら紹介していただけないでしょうか。

(花田委員)

あんずの里では夏にじゃがいも掘り体験をしており、広報に載せています。1区画500円で、掘ったじゃがいもは全てお持ち帰りできます。

(宗岡副会長)

さつまいももあります。また、福津市の公式LINEでもイベント案内をします。

(林委員)

参加者は多いですか。

(花田委員)

多いですね。100区画ですので300人です。あんずの里に隣接して農林体験実習館がありますので、今後もこの施設を利用して、いろんな交流事業をしたいと思っています。現在は高齢者で交流事業をしています。

(山下委員)

福津市認定農業者協議会でみかんの収穫体験のイベントを企画しています。

(梅木会長)

ありがとうございます。さまざまところで、魅力的な体験交流事業が行われていることを知ることが出来ました。また、花田委員からのご意見にありましたが、実際やれる場所があって、やりたいけれどもマンパワーが難しいということでしょうか。そういったところも、先ほど林委員からボランティアが入っていくと良いというようなアイデアを教えていただいたので、個人的な意見ではありますが、そういうこともできるようになればいいなと思います。

議事(2) 食のイベントカレンダーホームページ掲載について

(梅木会長)

食のイベントカレンダーホームページ掲載について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局 丸山)

郵送した資料に修正がありましたので、本日差し替えの資料をご覧ください。資料2-1は参加できるイベントを掲載しております。直近のイベントとしては、食生活改善推進会の主催で7月15日に親子料理教室があります。この教室ではカレーライスや子ども向けの簡単なデザートを楽しく作る内容になっています。

資料2-2は、地域や学校などで実施するイベントをまとめています。直近では、7月に上西郷小学校の児童を対象にスイカの収穫体験を予定しています。

なお、市のホームページでは令和5年度のイベントの他に、令和4年度のイベントの内容や写真、津市食育推進計画のことや令和2年度の市民食育アンケートの結果、「福津のめぐみで料理名人」の紹介、離乳食の進め方やレシピなども掲載しています。

(資料 食のイベント紹介 ホームページ)

(宗岡副会長)

7月15日に食進会で親子料理教室をしますが、その時に飲物にどれだけ砂糖が入っているかという砂糖を量る勉強もします。

(児島委員)

上西郷小学校のスイカの収穫が未定とありましたが、既に終わりました。たまたま今日の給食で、全校みんなが3年生が作ったスイカを食べました。小規模な学校だからこそ、こういうこともできるので嬉しかったです。

(中島委員)

勝浦小学校では、授業に入っているものを含めると、イベントカレンダーに載っている内容以外にも食育に関する活動があります。例えば、あんずの里に行って適格外野菜の勉強をしたりもします。上西郷小学校みたいに、スイカの収穫とかそういうのも含めると、小中学校では実はいろんな食育活動をしているのではないかなと感じました。

(宗岡副会長)

12月19日に上西郷小学校に味噌玉づくりに行きます。昨年度を含め3年間、食進会は神興小学校で味噌玉づくりをしたのですが、神興小学校の校長先生から朝ご飯を食べている児童が95%の成果を得たということを知り、「食進会ありがとう」と言われました。

味噌玉は、味噌の中にかつおぶしを少し入れて、ひとつ9gです。それに120ccのお湯を入れて、具は乾燥ワカメを水で戻したのを入れたり、麩を少し浸して入れたりして、お湯を注ぐだけで出来上がります。味噌玉をたくさん作って冷蔵庫に入れておけば、何か食べたいという時におにぎりと一緒に食べてもいいですね。高齢者の分もありますし、皆様も希望がありましたらお知らせください。

(児島委員)

神興小学校も上西郷小学校も小規模な学校なので取り組みやすいですね。福津市は大きな学校と小さな学校と二極化しているため、全体への働きかけが難しい部分もあると感じます。

(林委員)

さきほどの話で、神興小学校の朝食を食べる児童が95%に上がったとのことですが、それ以前はどのくらいだったのでしょうか。

(宗岡副会長)

校長先生はご存じですが、今すぐには思い出せません。

(中島委員)

勝浦小学校では、3年生の国語の授業で、大豆がいろんな食品に変わるという内容があります。その授業に関連して、子ども達が自分で作った大豆で味噌を作ります。3年生だけで15人以下の少人数の学校なのでできるのですが、みんな低学年の時から味噌づくりのことを知っていて、3年生になったら味噌がつかれると楽しみにしています。

他にもさまざまな体験授業があり、人形浄瑠璃を学ぶこともあります。家庭科の授業が5、6年生からしかないので、先ほどの味噌玉もそうですが、ふだんの授業に包丁や火を使わなくてもできるような食育の活動があると思います。

(梅木会長)

ありがとうございます。先ほど林委員から朝食の摂取率のご質問がありましたが、資料1の4ページに、令和2年度の小学5年生、神興小学校がどうであったかということはこの値では分かりませんが、市全体から見ると、95%になったというのはインパクトのある数字でかなり上昇したのではないかと思います。

中島委員からもございましたように、低学年の頃からできることから少しずつ取り組んで、3年生を尊敬の目で見ると、憧れの3年生になって味噌を作るというところで、そういう学年でつながりのあるような取組みもいいなと思います。大規模校の取組みにくさという問題も上がっていましたが、その辺りについても取組みが推進できる工夫が出来たらいいなと思ったところですが、まずはできるところから広めていくということですかね。

(3) 広報ふくつへの食育記事掲載について

(梅木会長)

議事(3) 広報ふくつへの食育記事掲載について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 丸山)

広報への食育記事掲載については、資料3をご覧ください。令和4年度及び令和5年度は表のとおりです。3月の内容は検討中です。

なお、ここに記載はしていませんが、1月に福津のめぐみで料理名人の特集を掲載予定です。また、各課広報別ページでも食育に関する記事を掲載します。

8. その他

(漆谷委員)

市のフードロス対策ですが、NPO法人などがフードロス対策の活動をしていますが、例えば余剰のものがあるという情報を受け取るのと、格差

が広がっているので、食べたくても食べられない子どもへ届けるようなことを、市として取り組んでいけたら子ども達が幸せになるのではないかと思うのですが、市としての取組み案はありますか。

(原崎市長)

メッタークラブさんがコロナ禍でなかなか直接の料理は提供するのが難しく、お菓子等を配っていたのは承知しています。県の施策としても予算化され、服部県知事が子ども食堂のことを言われているので、ツールとして子ども食堂等が大変重要であると思っています。

(漆谷委員)

食材の準備が厳しい家庭もあるので、メッタークラブでは月1～2回調達した食材をお配りしています。マッチングできたら良いなと思います。

(原崎市長)

今、市の直接の事業としてやっているのは、学校単位や地域単位です。普段なかなか広報にも載らないようなところがされているのはあります。

(林委員)

福津のイオンでは、「賞味期限が間近な調味料や缶詰などを提供してください」とあり、集めて置かれているコーナーがあります。イオンで集めた食品がどこへ行くのか分からないですが、市からかけ合って市民へ提供していただけないか交渉してみるのも良いのかなと思います。

(梅木会長)

今、フードロス対策や子どもの対策と居場所づくり、実際の食料とか食事についても困り事はあるかと思いますが、参加できるような機会がますます増えていくと良いと思いました。イオンの取組みについても教えていただいております。

9. 閉会のことば

10. 事務連絡

(事務局 新堀)

本会議の開催は年2回を予定しております。次回会議の開催は来年2月頃ですので、どうぞよろしく申し上げます。